



「脱退パワハラ訴訟報告集会」開催！



1月11日「脱退パワハラ訴訟」の第4回進行協議が行われ、輸送サービス労組本部主催の報告集会がリモートを活用し開催されました。今後は、会社が行った脱退工作の時系列（別紙時系列表）に対して、会社が認否を明らかにした上で、第5回の進行協議が開催されます。

不健全な企業風土に風穴を開けるべく、たたかいをつくりだすことを全体で確認！

- いま、日本では「権力を持つものが罪を犯してもお咎めなし」という状況がつけられている。権力による労働組合差別、労働組合法違反、団結権侵害などの不法行為をお咎めなしには出来ない！
- 世界でも企業・人権がクローズアップされている！企業の生産過程において人権侵害があってはならない！人権侵害がある企業には投資も行われていないなど ESG 経営が重要視されるなかで、私たちの目の前に人権侵害が転がっている！
- JR東日本はインフラを担う公共企業体であり、法令を遵守しない責任は重い！ブラック企業では安全な鉄道はつくりだせないことを明らかにしていこう！

訴訟団からは現在の経営姿勢に怒りをもってたたかう決意が語られる！

- 脱退強要から4年、訴訟を起こしてから2年が経ち、改めて当時を思い出した。職場では、このたたかいの最中でも脱退強要や組織破壊が行なわれている。各職場ではコンプライアンス勉強会が行なわれているが、実践管理者研修の報告など他の事柄に時間を取られ、動画を早回しして勉強会を終えるなど、会社のコンプライアンス意識が低下しているのは明らかだ。
- 当時を知らない社員が増えてきた中で「あったことをなかったことには出来ない！」「不当労働行為根絶！」を目的に立ち上がった輸送サービス労組の意義を胸に、安全で安心して働ける職場を実現するために最後までたたかっていく！

— 第5回進行協議：3月28日13時30分から —

**2022年を「真実を明らかにする一年」とし、
安全で安心して働ける差別のない職場を
4名の個人訴訟団とともにつくりだそう！**